



令和元年度 陸前高田市文化遺産調査団 参加学生募集

本学では、東日本大震災被災地支援の一環として陸前高田市で文化遺産調査を行い、今年で9年目を迎えます。この間、仏像胎内からの墨書の発見や陸前高田市と小笠原諸島との関連についての発見だけでなく、仮設住宅訪問や子どもを避難誘導された現職の先生からの聞き取りなどから学びをしてきました。今年度も、ESD文化遺産教育・ESD防災教育について研究・実践する機会として実施します。

1. 実施月日 令和元年9月13日(金)～16日(月) 3泊4日

2. 派遣先 岩手県陸前高田市方面

3. 活動内容

- (1) 陸前高田市の文化財調査
- (2) 防災教育：高田松原を守る会、被災地見学 等
- (3) 文化遺産を通したESD教材の作成

4. 引率教員 山岸公基(美術教育講座)、北村恭康(次世代教員養成センター)

5. 募集人数 学部生、大学院生、教職大学院生のうちから6名程度

6. 応募方法と期間

参加希望者は、次世代教員養成センター2号館事務室で「申込書」をもらい、作成してください。ただしオフィスが開いているのは月～金の10:00～17:00です。(12時から13時までには締まっています。)

次世代教員養成センター2号館事務室に申込書を提出することで申し込み受付完了とします。

7月16日(火)12時までに持参してください。

7. 参加者の決定について：申込書の記載内容をもとに面接を実施し、決定します。

面接日：令和元年7月17日(水)13時30分～

面接会場：新館2号R105中澤研究室(集合場所は、国際交流オフィス)

8. その他

- ・ 交通費と宿泊費は、大学で負担します。(但し、後日振込になるので、立て替え払いしてもらいます)
- ・ 食費や拝観料・見学科などは自己負担です。
- ・ 事前学習会を3回程度開催します。(陸前高田市史、防災教育についてなど)
- ・ 全員に報告書作成、ESD教材開発、令和2年2月15日(土)に予定している実践交流会への出席、及び発表を担当してもらいます。